

令和8年3月11日

成田市立各小学校及び義務教育学校前期課程 保護者 様

成田市教育委員会教育指導課長

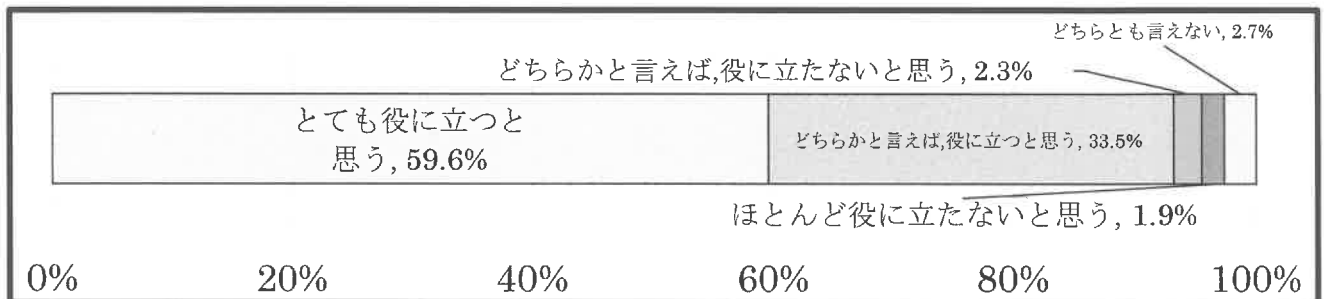
令和7年度成田市英語科アンケートの結果について(報告)

先般実施しました標記の件につきまして、ご協力いただきまして感謝申し上げます。令和7年度英語アンケートの集計結果についてお知らせいたします。結果につきましては、今後の本市英語科教育の推進及び発展のために有効に活用してまいります。

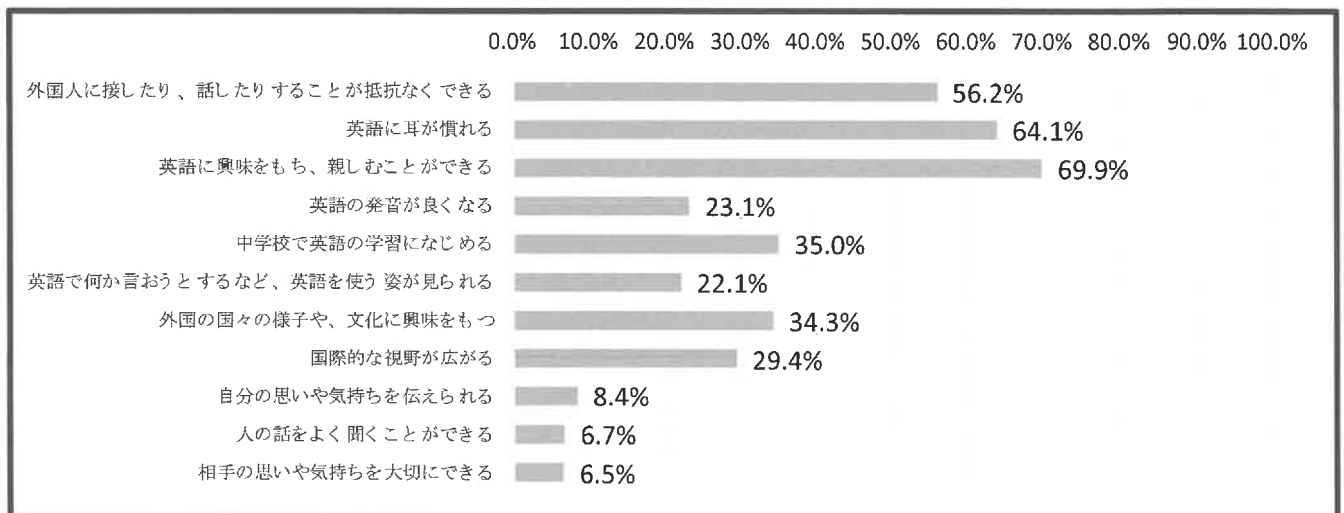
保護者用アンケート(小学校)

成田市内小学校及び義務教育学校前期課程各学年実施(回答数:1405名)

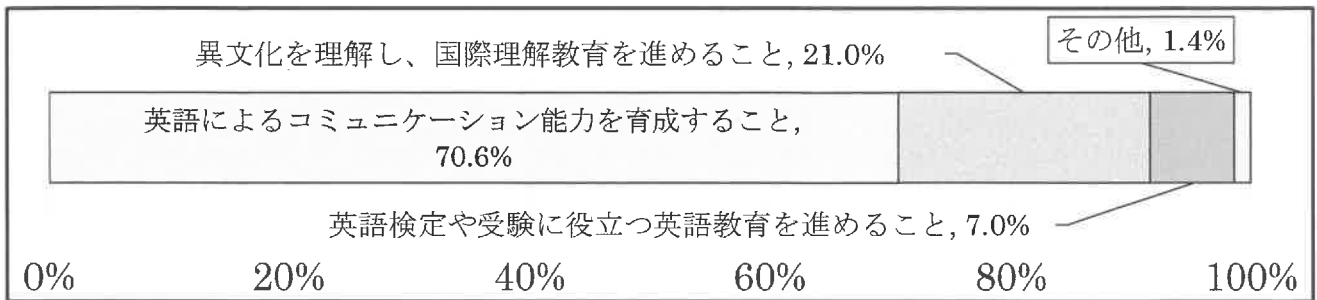
- 1 成田市では、英語によるコミュニケーション活動の授業を全学年で実施しています。このことは将来の子どもたちにとって役に立つと思いますか。該当する記号に○を記入してください。



- 2 小学校で英語を学習することは子どもたちにとってどのような変容が見られると思いますか。該当する記号すべてに○を記入してください。(変容が見られる時期は、小学校在学中、卒業後を問いません。)(複数回答可)



3 小学校の英語教育に期待することはどんなことですか。（1つだけに○を記入してください。）



その他 記述一覧（一部）※原文のまま引用しています。

- 私自身が英検1級等を保持している過程での学習体験からや、授業を拝見したこととその内容、つまり保育園でよくやっているようなジャズチャントや教員のカタカナ英語を週1程度で行っている現状では、子どもたちの英語力はあまり伸びる気がしなかった。学習進度の遅い早いではなく、思考や言語の基礎となる国語や漢字を今のうちに徹底してほしい。
- 子どもが下校して帰ってきて「今、外国の家族の子供が手を振ってきたから、私も手を振って『ハロー』って言ったら、『ハロー、こんにちは』って返してくれた」と話してきてくれました。学校で英語に触れていなければ、そこまでするような子どもではないので、小学校の楽しくコミュニケーションを取りながらの授業はとてもよいと思います。これからも続けて欲しいです。
- 早い時期から英語に触れることで英語に対して興味を持つことができるのでとてもいいカリキュラムだと思います。英語で交流する機会を増やすことで、相手に対してどうすれば伝えられるのか考える力が養われるのではないかと思います。
- 早期から英語に触れることで、子どもの英語に対する抵抗感がなくなり、自然と興味を持つようになるので、今後の学力アップにもつながると思います。
- 英語を経験する場の域までで止まっている気がするので、もう少し話せるようになってきたりするように、力を入れても良いと思います。
- 足りていない、積極的な取り組みがされている印象は薄い。教育観点に加えて、成田市としては空港もあるわけで、日常的に必要なスキルとして英会話、国際文化を位置付けて取り組みが行われてほしい。
- 小学校と中学校の英語の授業の連携をお願いしたいです。中学校で英語の塾行っていない子は全然ついていけない。小学校で英語のテストはないのに、中学校では『もう小学校でやっている、わかっていて当たり前』というように進んでいってしまう。
- せっかく国際空港がある自治体なので、英語でのフィールドワーク、中学校や高校の英語の授業への参加など、英語を学ぶことが目的ではなく手段として身につけられるような様々な体験をさせていただけるとありがたいです。
- 成田市では英語によるコミュニケーション活動を全学年で実施しており、英語教育に力を入れているので、実際にそれを見る機会があるといいと思います。授業参観の形式だと、英語以外の教科で実施させていることもあるので、英語の授業を見たり、英語の授業で学習した内容を発表し、それを保護者も見ることができるといいと思います。
- 今はまだ2年生な事もあるとは思いますが、授業が、ゲームなどがメインになっていると思います。1年生の内から、アルファベットに触れ、書く事も始めて、英語への抵抗感を無くす事も大事かと思えます。ネイティブな先生と接するせっかくの機会なので、例えば、授業の中で1対1で話す機会をほんの少しずつでももらえたら、子供も、先生に伝えたい思いや、先生と話せた喜びなどをもっと感じて、そこから、日本、外国、への意識が高まると思います。空港がある成田という立地も後押しにして、英語教育が発展する事で、外国の人と接する事への興味などにも繋がりが、日本の玄関・成田空港への憧れなども芽生えるのではないのでしょうか。